

登別大湯沼

古代恐竜が住む太古の世界に迷い込んだような気がした。火山が噴火した時の爆裂火口跡を目の前にした時の事であった。登別温泉を奥に進んだところに噴煙を上げる標高 337mの日和山の豪快な姿が現れた。その麓に周囲 1km ほどのひょうたん型をした大湯沼があった。いるところからボコッボコッと沸騰しているような源泉が噴き出している。近付くと硫黄の匂いプンプンと漂っていた。沼の表面の温度は約 40 度から 50 度で灰黒色をしているが深さ 22m ほどの沼の底では約 130 度の硫黄泉が噴出している。

世界有数の火山大国・日本。国内にある活火山の数は 110。世界の火山の 7%を占めるからいかに多いかが分かる。日本の地下には爆発を引き起こすマグマがいっぱい溜まっておりいつ爆発するかわからない。近年においても御嶽山、口永良部島、箱根山、桜島、阿蘇山などで噴火が相次いでいる。

また日本列島付近では 4 枚のプレートが重なり合っており、そのプレートは常に動いている。地震大国でもある日本はこのプレートの影響による沈み込み、跳ね上がり等によって絶えず地震が引き起こされているのだ。これらの運動の作用によってマグマが生まれ、活発な動きが地表まで達して火山爆発へととなっていく。これまで映像でしか見たことはないがハワイのキラウエア火山の爆発と溶岩の流れ。東京都三宅島等々。自然の驚異は人間の力では及ばないことを思い知った。今も世界のどこかで自然災害が起こっている。しかし人類は一つ。国を超えて助け合う心がそれらに打ち勝つ唯一の道であるように思う。

撮影 2015 年



春